防衛力整備など

令和3年度の防衛力整備

令和3(2021)年度の防衛力整備は、防衛大綱 及び中期防に基づき、多次元統合防衛力の構築に 向けた取組を着実に実施することとしている。

具体的には、領域横断作戦を実現するため、宇 宙・サイバー・電磁波といった新たな領域におけ る、より一層の能力を獲得・強化することとして いる。また、新たな領域における能力と一体と なって、各種事態に効果的に対処するため、海空 領域における能力、スタンド・オフ防衛能力、総 合ミサイル防空能力、機動・展開能力についても 引き続き強化することとしている。さらに、後方 分野も含めた防衛力の持続性・強靭性を強化する こととしている。

加えて、少子高齢化なども踏まえた人的基盤の 強化、軍事技術の進展を踏まえた技術基盤の強化 などに優先的に取り組むとともに、安全保障環境 の変化を踏まえ、日米同盟・諸外国との安全保障 協力を強化することとしている。

また、この際、従来とは抜本的に異なる速度で、 資源を柔軟かつ重点的に配分することにより、防 衛力を強化することとしている。さらに、あらゆ る分野での陸海空自衛隊の統合を一層推進し、縦 割りに陥ることなく、組織及び装備を最適化する こととしている。

加えて、格段に厳しさを増す財政事情などを勘 案し、一層の効率化・合理化を徹底することとし ている。

■ 参照 図表 II -4-1-1 (令和3 (2021) 年度防衛力整備の主要 事業(領域横断作戦に必要な能力の強化における優先 事項))



20式5.56ミリ小銃



F-35B戦闘機の発着艦を可能とするための 護衛艦「いずも」の部分的な改修



F-35B 戦闘機





動画: F-35B戦闘機の発艦【F-35 Lightning I Joint Program Office提供】

URL: https://youtu.be/PwGlkv_8BhY



動画: F-35B戦闘機の着艦【F-35 Lightning I Joint Program Office提供】

URL: https://www.youtube.com/watch?v=iqupeS4VXoA



令和3 (2021) 年度防衛力整備の主要事業 (領域横断作戦に必要な能力の強化における優先事項)

獲得・強化すべき能力	概 要
宇宙領域における能力	○SSA衛星(宇宙設置型光学望遠鏡)の整備 ○SSA (宇宙状況監視) システム等の整備 ○宇宙を利用した情報収集能力等の強化 ○宇宙作戦群(仮称)の新編 など
サイバー領域における能力	○サイバー防衛隊等の体制強化 ・共同の部隊「自衛隊サイバー防衛隊(仮称)」を新編 ○サイバー人材の確保・育成 ○サイバーに関する最新技術の活用 ○システム・ネットワークの安全性の強化 など
電磁波領域における能力	○わが国に侵攻する相手方のレーダー等を無力化する能力の強化 ・スタンド・オフ電子戦機の開発 ○わが国に対する侵攻を企図する相手方からの電磁波領域における妨害等に際して、その効果を局限する能力の強化 ・電子防護能力に優れたF-35A戦闘機4機及びF-35B戦闘機2機の取得 ○電子戦部隊の体制強化 ・陸自に「電子作戦隊(仮称)」を新編 ○電磁波に関する情報の収集・分析能力の強化 など
海空領域における能力	○P-1哨戒機の取得(3機) ○SH-60K哨戒へリコプターの救難仕様改修 ○US-2救難飛行艇の取得(1機) ○護衛艦(2隻)、潜水艦(1隻)の建造 ○「いずも」型護衛艦の改修 ○わが国主導の次期戦闘機の開発 など
スタンド・オフ防衛能力	○スタンド・オフ・ミサイルの取得 など
総合ミサイル防空能力	○能力向上型迎撃ミサイル (PAC – 3MSE) の取得 ○極超音速滑空兵器迎撃システムの研究 ○イージス・システム搭載艦の検討に係る技術支援役務 など
機動・展開能力	○16式機動戦闘車の取得 (22両) ○第2師団を機動師団に改編 ○機動師団・旅団の機動展開及び島嶼部における練成訓練 ○C-2輸送機の取得 (1機) など
持続性・強靭性	○継続的な部隊運用に必要な各種弾薬の取得○自衛隊施設の老朽化対策及び耐震化対策の推進○装備品の維持整備に必要な経費の着実な確保 など